


## 平成30年度 総合政策部 経営計画書

職・氏名	経営方針	経営資源									
部長 三浦 一浩 	<p><b>●使命</b>            総合政策部は、企画・政策を総合調整する部として、市民の幸福度を高めるため、高度化・多様化する行政ニーズを集約し、共有しながら、課題を市政に反映します。</p> <p>また、市民意識を把握し、市民と行政との双方向による情報と意識の共有化を進め、市民満足度の向上に努めます。</p> <p><b>●基本方針</b>            ①透明で開かれた市役所をめざして、市政の情報と市民目線の広聴広報に取り組みます。            ②定住促進策など「地方創生」関連施策を推進します。            ③市民活動のための支援策を調査研究し、協働のまちづくりを推進します。</p>	<b>所管課</b>  <b>人員</b>  <b>一般会計</b>  <b>特別会計</b>  <b>計</b> (うち人件費)	秘書広報課、企画振興課  <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">正職員</th> <th style="width: 33%;">臨時職員</th> <th style="width: 33%;">合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">13人</td> <td style="text-align: center;">2人</td> <td style="text-align: center;">15人</td> </tr> </tbody> </table> 504,101 千円  29,584 千円  533,685 千円  (76,386 千円)			正職員	臨時職員	合計	13人	2人	15人
正職員	臨時職員	合計									
13人	2人	15人									

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
1	広報せとうちや市HP、SNSの有効活用による市民への情報提供と市外への魅力の発信  市政に関心がある市民を増やすため、市の重点施策をテーマにした広報紙特集号を発行します。 また、市民目線の紙面づくりを担う広報編集員(仮称)の採用について研究します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年3回市の重点施策等をテーマにした広報紙特集号の発行</li> <li>・企画・取材・編集等の作業を担う広報編集員の採用についての研究</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山鳥毛里帰りプロジェクトの特集記事を発行すべく準備中。</li> <li>・広報編集員については、他の自治体等の情報を収集中。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山鳥毛里帰りプロジェクトの特集記事を発行すべく現在も準備中。</li> <li>・広報編集員については、他の自治体等の情報を収集中。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特集記事についてはプロジェクトの進行状況等と照らし合わせ最終的には発行を取りやめた。</li> <li>・広報編集員については、メリット・デメリットをさらに見極める必要あり。</li> </ul>

		<p>市HPについては利用者が必要とする情報を探しやすく、そして誰もが使いやすいサイトとするための見直しを行います。</p> <p>SNSをシティプロモーションツールとして活用し、セットちゃん情報をはじめ市の魅力を積極的に発信します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市HPの見直しにより使い勝手の良いサイトにする事でアクセス数を増加させる。</li> </ul> <p>《アクセス数（年平均）》 250,000件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>投稿数の増加 (現在2ヵ月に1回⇒月2回)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>担当者等により使い勝手が悪い箇所を随時見直し中。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>4月～6月まで6件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>担当者等により使い勝手が悪い箇所を随時見直ししている。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>4月～1月まで8件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>担当者等により使い勝手が悪い箇所を随時5箇所見直した。</li> </ul> <p>《アクセス数（年平均）》 243,100件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>4月～1月まで8件 豪雨災害の影響からセットちゃんの活動を自粛したことにより活動数が減少。</li> </ul>
--	--	---	--	--	---	--

重点項目	内容	成果目標	9 月末の進捗状況	1 月末の進捗状況	3 月末の達成状況
2	ふるさと納税を活用したクラウドファンディングのしくみづくりを行い、寄附の募集を行います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふるさと納税を活用したクラウドファンディングのしくみを作り、3 件の寄附募集の実施</li> <li>ハンセン病療養所の世界遺産登録に向けた活動</li> <li>文化財の保護・保存等（2 件）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年度当初にクラウドファンディングのポータルサイトをプロポーザル方式により選定。現在ハンセン病療養所の世界遺産登録に向けた活動及び山鳥毛里帰りプロジェクトのクラウドファンディングを実施中。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふるさと納税を活用したクラウドファンディングのしくみを作り、2 件を実施中。</li> <li>ハンセン病療養所の世界遺産登録に向けた活動</li> <li>山鳥毛里帰りプロジェクト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふるさと納税を活用したクラウドファンディングのしくみを作り、2 件を実施中。</li> <li>ハンセン病療養所の世界遺産登録に向けた活動</li> <li>寄附 29 件 693,000 円</li> <li>山鳥毛里帰りプロジェクト</li> <li>寄附見込 2,886 件 329,796,000 円 (企業版・通常のふるさと納税を含む。)</li> </ul>
3	公共交通の充実による交通不便地域の解消	<ul style="list-style-type: none"> <li>市公共交通網形成計画に基づき、公共交通不便地域の解消のため、地域公共交通会議と連携し、新たな地域での交通体系の構築を進めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的に地域公共交通会議を開催し、新たな交通体系の導入による公共交通不便地域居住人口割合の縮小につなげる</li> <li>既存の市営バス、民間路線バスの利用促進のための情報発信の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>タクシー活用制度の利用者要件を変更し、瀬溝付近、長島の利用者が増加した。</li> <li>10/1からのダイヤ改正と、停留所の新・移設に併せて利用の手引きを改正し、医療機関情報なども掲載することで利用者増を図った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>来年度、邑久、長船地域の未導入地域に対する新路線案の検討に向け、住民意見交換会に着手した。</li> <li>同左</li> <li>3/14 に交通会議を開催し、新年度からの新路線導入等を了承。導入が実現すれば交通不便地域の人口を約 4,500 人改善(人口割合 20.7%→7.5%)することができる。</li> <li>新年度版公共交通マップの官民協働発行を契約した。</li> </ul>

重点項目	内容	成果目標	9 月末の進捗状況	1 月末の進捗状況	3 月末の達成状況
4 協働のまちづくりの推進	<p>人口減少が進む中、地域コミュニティの活力維持に向けて、持続可能な自治組織づくりの検討と、それに伴う補助金等支援制度の検討を行います。</p> <p>民間組織と市との協働による地域の課題解決に向けた取り組みを推進します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協働のまちづくり推進委員会での具体的な事業案の検討</li> <li>・市民活動応援補助金、協働提案事業の評価・検証・改善を的確に行い、地域住民や市民活動団体との協働による効果的な地域課題解決の仕組みづくりを進める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地域の代表者にヒアリングを行い、新たな制度案を具体化し、検討を続けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体化した制度案について、協働のまちづくり推進委員会で検討するとともに、モデル事業実施に向けた検討を続けている。</li> </ul>	<p>制度案を具体化し、平成 31 年度に実施するモデル事業のマニュアル（案）を作成した。</p>
5 地方創生の推進	<p>人口減少に歯止めをかけ、定住人口の増加につなげるための取組を進めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市部での「移住フェア」等への出展</li> <li>・空家バンク制度の周知</li> <li>・旧牛窓診療所の活用による地域の賑わいづくり</li> <li>・結婚推進に向けた取組の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9 月末までに東京での移住フェアに 4 回出展し 39 組、大阪での移住フェアに 1 回出展し、5 組の相談を受けた。</li> <li>・固定資産税納税通知書に空家バンク紹介のチラシを同封し PR した。</li> <li>・まちなか再生事業と連携してデザインミーティングを行い、旧牛窓診療所の活用公募条件の検討に役立っている。</li> <li>・縁結びサポーターによる婚活相談会を 6 月に牛窓ヨットハーバーで開催した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1 月末までに東京での移住フェアに 7 回出展し 65 組、大阪での移住フェアに 1 回出展し 5 組の相談を受けた。</li> <li>・同左</li> <li>・まちなか再生事業と連携し、旧牛窓診療所利活用事業運営事業者の公募を実施した。</li> <li>・縁結びサポーターによる婚活イベントを 12 月にゆめトピア長船で開催した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3 月末までに東京での移住フェアに 7 回出展し 65 組、大阪での移住フェアに 2 回出展し 16 組の相談を受けた。</li> <li>・納税通知同封による PR により空家登録した数：12 件</li> <li>・まちなか再生事業と連携し、旧牛窓診療所利活用事業運営事業者を決定した。</li> <li>・縁結びサポーターによる婚活イベントを 2 回開催した。(計 13 人参加)</li> </ul>